

1

**世代を超えて  
ふれあうまち**

# ① 健やかに暮らすまち

## 中学校卒業までの医療費実質無料化

1954万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健康管理を支援するため、0歳から中学生までのお子さんが病院で診察を受けたときの保険医療費を助成しました。

平成22年8月から、北海道の補助制度の対象範囲を本町独自に拡大してきましたが、平成23年8月からは、さらに中学生のお子さんの通院医療費、歯科医療費や薬代も助成対象に加えました。

これにより、中学校卒業までの医療費が実質無料になりました。

### 【平成23年度の助成実績】

	全体		未就学児		小学生		中学生	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
入院	66	3,569,457	45	2,748,259	18	713,808	3	107,390
通院	4,830	9,004,814	2,693	4,437,113	1,809	3,778,693	328	789,008
歯科	930	1,803,545	306	554,704	579	1,136,385	45	112,456
調剤	3,405	4,226,746	2,076	2,094,829	1,134	1,844,624	195	287,293
その他	13	36,575	13	36,575	0	0	0	0
合計	9,244	18,641,137	5,133	9,871,480	3,540	7,473,510	571	1,296,147

■ は  
町独自拡大分

## がん検診

682万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

がんの早期発見・早期治療のために、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん検診を実施しました。

平成21年度から、節目年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券を発行してきましたが、平成23年度は、これらに加えて大腸がん検診でも無料クーポン券を配布しました。

また、町独自の取組みとして、30歳代の女性を対象に乳がん検診を実施しました。



## 妊婦健康診査・相談

259万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

妊婦を対象に、妊婦一般健康診査費14回分と超音波検査費6回分の妊婦健康診査費を、1人当たり83,640円を上限に助成しました。

また、母子ともに健やかな妊娠経過をたどり、出産を迎えられるよう、母子手帳交付時と妊娠期間中に健康相談と栄養相談を実施しました。



## インフルエンザ予防接種 169万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

インフルエンザ予防接種を指定医療機関で受けた65歳以上の方、中学生以下のお子さん、妊婦の方、延べ1,635人に、1人1回1,000円を助成しました。

	高齢者	中学生以下	妊 婦
助成人数	1,049	580	6

(対象期間：11月1日～12月31日)

## ヒブ・小児用肺炎球菌予防接種 170万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種を指定医療機関で受けた、生後2カ月から5歳未満児、延べ184人の接種費用の全額を助成しました。

### 【豆知識】

ヒブ（インフルエンザ菌b型）による細菌性髄膜炎は5歳未満の乳幼児がかかりやすい病気です。また、肺炎球菌による髄膜炎や肺炎は、2歳未満の乳幼児がかかりやすい病気です。



## 子宮頸がん予防接種 469万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

子宮頸がんワクチン予防接種を指定医療機関で受けた、中学1～3年生と高校1～2年生の女子、延べ298人の接種費用の全額を助成しました。

### 【豆知識】

ワクチンの接種は、1人3回で完了します。しかし、ワクチンの接種だけでは100%の予防はできませんので、20歳になったら子宮頸がん検診の受診が必要です。

学 年	中1	中2	中3	高1	高2
対象者	32	31	31	30	37
3回完了者	24	15	17	21	33
接種率	75.0	48.4	54.8	70.0	89.2

(平成24年3月末時点)

## ② 子どもの笑顔が輝くまち

### 得きっずカードの発行

304万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

得きっずカードは、妊婦さんがいる世帯と、中学校を卒業するまでのお子さんがある世帯に配布している、子育て支援と町内経済の活性化を目的としたポイントカードです。満点カード1枚につき2,000円の上乗せ助成を行っています。1世帯につき5枚交付しているため、最大で1万円の助成が受けられます。

しかし、平成23年度の交付率は83.4%と高いのですが、交付したカードのうち、満点カードが占める割合は、59.4%と6割に満たない状況でした。

満額の助成をより多くの方に受けてほしいので、町内での買い物はもちろん、子育てスクールやおはなしころりんミニなどのポイント付与対象事業への積極的な参加をお願いします。特に中学生は、町内で買い物を済ませることが多いでしょうから、得きっずカードを持って買い物をしてください。

	H21	H22	H23
交付率(%)	79.0	77.9	83.4
交付世帯	366	415	443
対象世帯	463	533	531
満点率(%)	58.4	65.4	59.4
満点(枚)	1,069	1,358	1,316
交付(枚)	1,830	2,075	2,215



### 子育て支援センターの運営 289万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

保育士の資格を持っている2人の指導員を配置して、子育て中の保護者の皆さんのサポートや、悩みのケアなどを行いました。

また、子どもたちが安全に遊べるように、日常的に遊具の点検・修理をしています。平成23年度は、砂場に抗菌砂を入れました。

このほか、指導員が年2回のスキルアップ研修を受講し、より上質な育児支援を行える態勢を整えました。



### 児童館の運営 702万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

児童館には4人の児童厚生員が勤務し、子どもたちが安心して遊べるように一人一人にしっかりと目を配っています。また、じどうかんまつりやクリスマス会などの工夫を凝らした行事、ドッジボールや一輪車などの遊びを行っており、1年間で延べ19,704人が遊びに来てくれました。

また、新たな試みとして、子育て支援アドバイザーを1人配置し、遊びを通じての児童の指導や保護者からの子育て相談に対応しました。



## 保育園の運営

7696万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

新十津川保育園の運営は、学校法人華園学園を指定管理者として委託をしています。平成24年3月1日現在の入園児童は66人で、そのうち2人は滝川市からの、1人は浦臼町からの広域入所児童です。

平成23年度からは、お仕事の都合などで午後6時までの迎えが困難な方のために、事前申請をすることで午後7時までの延長保育が利用できるようにしました。利用料は1回400円で、延べ10人が利用しました。また、保護者の負担を軽減するために、7月分から保育料の引き下げを実施しました。

そのほか、グラウンド、砂場、鉄棒の整備や大和、徳富、花月方面の園児の送迎用車両を更新しました。



### ③ 高齢者が快適に過ごすまち

#### シニアいきいきクラブ 9万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

シニア世代（60歳以上の方）の新たな趣味作りを目的として、平成23年度から始めた取り組みです。

初年度は、パークゴルフ、樹木のせん定・冬囲い、木工、パッチワークの4教室を開催し、延べ35人が参加しました。



#### ふるさと学園大学 47万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者の学習意欲の向上や健康増進などを目的に、身近な話題や一般教養に関する講義を年8回開催しました。

平成23年度は、入学者212人、修了者（6回以上の出席）130人、うち皆勤賞60人でした。

##### 【平成23年度の講義】

	内 容
1 講	入学式、落語
2 講	健康講話、健康運動
3 講	社会見学
4 講	東洋医学の養生法 お天気キャスターの講演
5 講	交通安全講座、道警音楽隊の演奏
6 講	健康講話、健康運動
7 講	北方領土を知る町民のつどい アザレアコーラスとの合唱
8 講	ガーデニング、相続や贈与の税金Q&A

#### 長寿を祝う会 112万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

喜寿（77歳）および傘寿（80歳）以上の高齢者を祝福するために行政区長、社会福祉協議会、町で実行委員会を組織し、8月25日に改善センターで「長寿を祝う会」を開催しました。

	H21	H22	H23
対 象 者	863	876	928
出 席 者	378	388	409
喜 寿	71	61	73
傘寿以上	307	327	336



#### レクワーカー養成講座 6万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者の健康づくりを目的に、レクリエーションの指導者を養成する講習会を5回開き、述べ71人が受講しました。

講習会では、レクリエーション認定指導員からゲームやダンス、ニュースポーツなどを教わりました。



## 高齢者宅の福祉除雪 268万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者や障がい者世帯の除雪の不安を解消し、在宅生活を確保するため、11月から3月までの期間、除雪サービスを実施しました。

平成23年度は41世帯がこの事業を利用しました。

	H21	H22	H23
利用世帯数	44	50	41
高齢者世帯	42	48	40
障がい者世帯	2	2	1



## 通所型介護予防 442万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

要介護状態への移行を予防するため、週1回利用できるデイサービスをゆめりあで行いました。

冬期間限定の運動教室は、平成22年度は週1回でしたが、平成23年度は週2回に増やして実施しました。

### 【主な内容】

- ・体操、手指トレーニング
- ・室内レクリエーション  
ゲーム、調理レク、映画鑑賞
- ・外出レクリエーション  
買い物、ドライブ見学
- ・保健師や栄養士による健康講話 など

	H21	H22	H23
利用者数	1,053	1,171	1,341
元気満点教室	1,053	1,009	948
冬期運動教室	—	162	393

## 緊急通報システムの設置 9万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ボタンを押すと消防署につながる緊急通報システムの設置費用を負担し、高齢者や障がい者の不安の軽減や緊急時の迅速な対応を図りました。

平成23年度は75世帯の利用があり、消防署への通報は12件、うち救急隊の出動は7件でした。



## 介護保険の運営 9803万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護保険事業の運営の安定化を図るため、空知中部広域連合に対し、運営全般に係る経費を負担しました。

高齢化率の上昇と連動して介護認定率も上昇している市町村が多い中、本町の認定率は減少しており、元気に生活している高齢者が多いことが伺えます。

### 【広域連合管内（1市5町）の介護認定率】

	要介護・要支援率		
	1番高いまち	1番低いまち	平均
H21	歌志内市 17.18%	新十津川町 14.37%	15.85%
H22	歌志内市 18.70%	新十津川町 14.24%	16.63%
H23	歌志内市 19.26%	新十津川町 14.04%	17.01%

## ④ 障がい者が安心して暮らすまち

### 施設通所交通費の助成 63万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

療育指導を受けるために児童デイサービスを利用している児童が子ども通園センターへ通うための交通費、重症心身障害児(児)が機能訓練のために旭川市の療育センターに通所するための交通費、在宅の精神障がい者が社会復帰施設に通所するための交通費について、それぞれ一部を助成し、経済負担の軽減を図りました。

	H21	H22	H23
障害児児童デイサービス通園交通費助成			
対象者(人)	実施して いません	20	24
重症心身障害児(者)機能訓練交通費助成			
対象者(人)	7	7	8
精神障害者社会復帰施設等通所交通費助成			
対象者(人)	9	8	7

### 更生医療費の助成 1504万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

身体障がい者が人工透析などで必要とする医療費を、それぞれの所得区分に応じて助成することで、経済負担の軽減を図りました。

また、毎月、社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会から送られてくる更生医療対象者のレセプト請求に応じて支払いをしました。

	H21	H22	H23
対象者	21	24	18

### 障がい者の自立支援 1億6533万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、個々のニーズに応じたサービスの提供や支援を行いました。

#### 【主なサービス】

- ・障害福祉サービス…介護の支援や就労の訓練などを行いました。
- ・地域生活支援…移動や入浴などの支援や生活用具の支給などを行いました。

### 地域活動支援センター負担金 676万円

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障がいのある方が、自らの意思で自立した生活ができるよう、創作的活動や生産活動を行なう場である地域生活支援センターの運営費の一部を負担しました。

地域活動支援センターは、ゆめりあ内の「あざれあ工房」と砂川市の「ぼぽろ」が指定を受けています。

